

報告書10: 2025年12月 黒岩 麟平

今年のボルチモアの冬は昨年よりは少し暖かめのようですが、体が順応していないのか、やけに寒く感じます。ラボが入っている建物の空調制御がどうしようもないので、一時期タンクトップ半ズボンというビーチスタイルで過ごした後、今は少し寒めに落ち着いて、ブランケットにまかれながら、仕事しています。

1 研究

春に投稿した論文がリジェクトされたので、別の雑誌に再投稿して、査読後、リビジョンを送ったところです。2回目の投稿では、ポジティブな査読をもらえたので、楽観的でいます。今は、クライオ電子顕微鏡を使った興味のあるタンパク質の多量体の構造決定と、ラボメンバーのプロジェクトのお手伝いをしています。前者はうまくいけば、論文化していない他のデータの大部分とまとめて世に出せるのですが、ハイリスクハイリターンでもあります。後者は、生化学/生物物理を主にやっているのがラボ内で私だけなので、ラボメンバーの知見を私の実験系で検証することで、第二/三著者として唾をつける貢献する、という作戦であります。

2 その他

幸い、私の実務的な範囲内では、新政権による影響は壊滅的ではないものの、大小さまざま影響が出ています。また、企業や政府に勤めている友人や知り合いから聞く話は、ホプキンス内とは一味違う様子で、アカデミアは特殊な環境だと再実感します。世界情勢が特に不安定な今日この頃、人間の愚かさが身に沁みます。その結果、自分の人生を制御できるうちにしたいことをしようという気持ちが強くなり、日々の意思決定における、短期的快楽の優先順位があがりました。

3 最後に

ちょうど先週にデパートメントでのセミナー発表をしたり、他の思いがけない用事でバタバタしているため、短い報告書となりましたが、改めて長年のご支援ありがとうございます。事務局の皆さんも良い年末をお過ごしください。